

第1講

酒を飲む前に、まず俺の話を聞け！ (2022年度第1問) — 律令時代における命令の伝達方法 —

次の(1)～(4)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えよ。

- (1) 律令制のもと、中央政府から諸国への連絡には文書が用いられた。その際、たとえば改元のように、全国一律に同じ内容を伝える場合には、各国宛てに1通ずつ作成されるのではなく、あわせて8通の文書が作成され、中央政府から畿内や七道の諸国に伝達された。受けとった国司はそれを写し取り、国内で施行したものとみられる。
- (2) 734年に出雲国が中央政府や他国との間でやりとりした文書の目録によれば、3月23日に中央政府が出雲国に宛てて発給した文書が、4月8日に伯耆国を通過し、4月10日に出雲国に到着したことが知られる。また出雲国を経由して、隠岐国や石見国に文書が伝達されることもあった。
- (3) 石川県で発掘された木札には、849年の郡司の命令が記されていた。そのなかで郡司は、国司からの命令を引用した上で、管轄下の役人に対し、その内容を道路沿いに掲示し、村人たちに諭し聞かせるようにと指示している。この木札には、一定期間、屋外に掲示された痕跡が残っている。
- (4) 奈良時代の村落における農耕祭祀の様子を伝える史料によれば、祭りの日には酒や食事が用意され、村の成人男女が集合すると「国家の法」が告知され、その後に宴会がおこなわれたという。

設 問

- A 中央政府から諸国に命令を伝える時に、都から個別に使者を派遣する場合もあったが、そうでない場合はどのような方法がとられていたか。2行(60字)以内で述べよ。
- B 諸国では、どのようにして命令が民衆にまで周知されたと考えられるか。具体的な伝達方法に注意しつつ、4行(120字)以内で述べよ。

解いてみましょう（第1講）Aについて

1 問われている（求められている）ことを確認する。

ア を書く。

イ について書く。

ウ 2行（60字）以内で書く。

2 資料と教科書（山川出版社『詳説日本史探究』）の内容とを照らし合わせる。
関係する教科書のページと内容は、

教科書の 44 ページの 1 行目～5 行目



中央と地方とを結ぶ交通制度としては、都を囲む畿内を中心に東海道など七道の諸国府へのびる官道（駅路）が整備され、約 16km ごとに駅家を設ける駅制が敷かれ、官人が公用に利用した。地方では、駅路と離れて郡家などを結ぶ道（伝路）が交通体系の網目を構成した。

教科書の 見返しの古代の行政区画



3 与えられた資料をもとに作成した「東大チャート」を解く。

次のページに「東大チャート」があります。上記の空欄に当てはまる語句も記されています。

東大チャート 「中央政府から諸国に命令を伝えた方法」(2022年度第1問設問A)

(は、ほぼ抜き出して入れる。 へは、考えて決めゼリフを入れる。)

求められていることは

ア 中央政府から諸国に命令を伝えた方法 を書く。

イ 都から個別に使者が派遣されたのではない場合 について書く。

(1) 律令制のもと、中央政府から諸国への連絡には文書が用いられた。その際、たとえば改元のように、全国一律に同じ内容を伝える場合には、各国宛てに1通ずつ作成されるのではなく、あわせて8通の文書が作成され、中央政府から畿内や七道の諸国に伝達された。受けとった国司はそれを写し取り、国内で施行したものとみられる。

(2) 734年に出雲国が中央政府や他国との間でやりとりした文書の目録によれば、3月23日に中央政府が出雲国に宛てて発給した文書が、4月8日に伯耆国を通過し、4月10日に出雲国に到着したことが知られる。また出雲国を經由して、隠岐国や石見国に文書が伝達されることもあった。

【教科書の記述】
 中央と地方とを結ぶ交通制度としては、都を囲む畿内を中心に東海道など七道の諸国府へのびる官道(駅路)が整備され、約16kmごとに駅家を設ける駅制が敷かれ、宣人が公用に利用した。地方では、駅路と離れて郡家などを結ぶ道(伝路)が交通体系の網目を構成した。
 (P44. L1~5)

中央政府は、全国一律に同じ内容を伝える場合は、あわせて8通の文書を作成した。

↓

8という数は、 ① と ② という行政区画を合わせた数である。

↓

中央政府は、 ① ・ ② ごとに1通ずつ文書を作成した。

文書を持った ③ は、山陰道であれば、伯耆国を通過して出雲国へ。出雲国を經由して隠岐国、石見国のように ④ に沿って ⑤ に ⑥ を回った。諸国では ⑦ が文書を ⑧ 。

4 60字にまとめる。

解いてみましょう (第1講) Bについて

1 問われている (求められている) ことを確認する。

ア を書く。

イ に注意して書く。

ウ 4行 (120字) 以内で書く。

2 資料(3)と(4)の内容を、120字でまとめれば答案を作成できます。

3 与えられた資料から作成した「東大チャート」を解く。

次のページに「東大チャート」があります。上記の空欄に当てはまる語句も記されています。

東大チャート「諸国で命令を民衆に周知させた方法」(2022年度第1問設問B)

(は、ほぼ抜き出して入れる。 へは、考えて決めゼリフを入れる。)

求められていることは

ア 諸国で、命令を民衆に周知させた方法
を書く。

イ 具体的な伝達方法 に注意して書く。

(3) 石川県で発掘された木札には、849年の郡司の命令が記されていた。そのなかで郡司は、国司からの命令を引用した上で、管轄下の役人に対し、その内容を道路沿いに掲示し、村人たちに諭し聞かせるようと指示している。この木札には、一定期間、屋外に掲示された痕跡が残っている。

(4) 奈良時代の村落における農耕祭祀の様子を伝える史料によれば、祭りの日には酒や食事が用意され、村の成人男女が集合すると「国家の法」が告知され、その後宴会がおこなわれたという。

① からの命令を、 ② が
 ③ に命令して周知させた。
 ③ は、命令を記した ④
を ⑤ 道路沿いに ⑥
掲示して、 ⑦ ⑧ には
 ⑨ ようにした。また、 ⑩
の ⑪ に ⑫ して、
 ⑬ した ⑧ に ⑭ で
告知する方法で周知させた。

4 120字でまとめる。

今回、問題を解くことで学んだこと